



みどりの里

宇奈月小学校だより
第 15 号
平成 30 年 3 月 6 日

目指す子供像 うんとかながえる子 なかよくする子 つよいからだの子 きれいなところの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山 205 番地 1
TEL(0765)65-2288 FAX(0765)65-2800

URL <http://www.tym.ed.jp/sc13/>
E-mail unazuki-es@tym.ed.jp

「感謝」そして、次へ

教頭 土井美雪

2月9日(金)から25日(日)まで、韓国の平昌で冬季オリンピックがありました。競技だけでなく、選手の練習や応援の様子もテレビで紹介され、テレビやネットに釘付けになった方も多かったと思います。4年に一度というオリンピックは、本当に注目が大きく、選手も試合にかける意気込みも相当なものに感じました。試合前後の選手のコメントや競技解説者の話を何度も聞き、心に映像や言葉が感動とともに残りました。今回のオリンピックでは、選手のコメントの中でも特に、試合後に「感謝」という言葉をよく耳にしました。

小平奈緒選手「コーチだけでなく、一緒に練習をしたメンバーや応援をしてくれた人全てに感謝を伝えたい。」

高木美帆選手「チームの皆に感謝したい。」

本橋麻里選手「今日は、皆に感謝する日だと思います。」

高梨沙羅選手「みんなに恩返しや感謝の気持ちを伝えたいと思います。」

この「感謝」という言葉は、メダリストだけでなく、メダルにもう少しで届きそうだった入賞者や力及ばず予選で敗退した選手も、インタビューの中で練習を支えてくれた人々や応援してくれた人々に「感謝」と話していました。応援していた人もテレビで観戦していた人も勇気や感動をもらい、オリンピック選手に感謝したい気持ちになったのではと思います。

さて、2月23日(金)に行われた「6年生を送る会」のスローガンは「笑顔輝く送る会 ～感謝100%で感動をとどけよう～」でした。6年生への感謝の気持ちを表した劇や歌、ダンスがあり、スローガンの言葉の通り、会場全体が笑顔であふれ、笑顔輝く送る会となりました。

大きな節目(卒業)を迎えたり、大きなこと(目標としていたこと、オリンピックに参加、メダル獲得等)を成し遂げたりした後、今までの自分を振り返り、今自分がここにいる、ここまで頑張ることができたことに対して周囲への「感謝」という気持ちが自然と出てくるのではないのでしょうか。「感謝」して終わりではなく、そして、「感謝」した思いを胸に、次のステップへ、次の道へ進んで行くのだと思います。

卒業式まであと10日(卒業式3月16日)。6年生は「感謝」という言葉が付くイベントをいくつか計画していて、周りの人々への「感謝」を伝え、そして次(中学校)へ向かうことになります。



6年生を送る会の一コマ

よりよいまちづくりのために……6年行政相談出前授業

2月9日（金）、行政相談員に来ていただき、6年生が行政相談出前教室に参加しました。この行政相談出前教室では、行政相談の仕組みを学ぶとともに、事前に子供たちが見つけた各地域の改善箇所や要望事項等を行政機関に働きかけてもらい、よりよいまちづくりを体験的に学習することができました。子供たちは、自分たちの意見等が身近な暮らしに役立つことを知り、地域や行政の理解を深め、関心を高めました。



「行政相談の仕事は、皆さんの地域で……」



「行政の仕事っていろいろあるんだね」

花とみどりを守り育てる意識を高めて……5年キノコの植菌体験

青少年育成市民会議下立支部やフォレストリーダーの皆さん15名に来ていただき、5年生がキノコ（ナメコ）の植菌体験を行いました。約200本のブナの木に、次々とドリルで穴を開け、木槌で菌を打ち込んでいきました。収穫が楽しみです。その後、5年生は花とみどりの少年団の解団式を行いました。



ドリルも上手に使えるようになったね！



開けた穴に菌を打ち込んで……

毎日の見守りに心から感謝！……安全パトロール隊感謝の集い

2月23日（金）、6年生を送る会に先立ち、各地域の安全パトロール隊や浦山駅誘導員の皆さん、スクールバスの運転手さんや駐在所の皆さんを招待し、感謝の集いを開催しました。代表児童が手紙を読んで感謝の気持ちを伝えました。また、子供たちはお一人お一人にお礼のメッセージを渡しました。

この一年間、子供たちに大きな事故や怪我がなかったのは、皆さんの毎日の見守り等のお陰です。暑い日や雨の日、風の日、雪の日もご尽力いただき、心から感謝申し上げます。そして、来年度もどうぞよろしく願いいたします。



「一年間、大変お世話になりました」

お世話になった感謝の気持ちを込めて……6年生を送る会より

2月23日(金)、もうすぐ卒業を迎える6年生に対し、5年生が中心になって6年生を送る会を開きました。代表委員会を経て、1年生から5年生がプレゼントや飾り付けの準備を分担したほか、練習を重ねてきた出し物を発表しました。6年生からは、「自分たちがこういう(送られる)立場になって、いろいろ発表してもらって、忘れられない思い出になりました」などの感想も聞かれました。6年生からお返しの詩の朗読や演奏の発表も心温まるもので、とても素敵な会になりました。引き継ぎ式も行い、1～5年生は進級への思いを、6年生は中学校生活への期待を大きく膨らませました。

保護者の皆様には、ご多用の中、多数ご参観いただき誠にありがとうございました。



決めポーズで入場!



1年 劇「11ぴきのねことあほうどり」



プレゼント渡し



2年 音楽劇「森は生きている」



3年 クイズ・ダンス「6年生をモニタリング」



引き継ぎ式



4年 ダンス「レッツダンス 宇奈月」



5年 思い出劇「キャリア・ウーマン in 宇奈月」



6年生からのお返し(詩の朗読・合奏)



花道を通る退場は最高!

意外な一面を発見！……6年生との校長室ふれあい会食

2月26日～3月6日の期間、毎日6年生を6～8人ずつ校長室に招待し、一緒に会食（給食）を楽しみました。校長室へ入るやいなや、「久しぶりに校長室に入りました」や「(歴代校長の写真を見て)ぼくらが1年生のときの校長先生ですね。懐かしいな」などと、率直に思いを述べていました。

会食中、「小学校での一番の思い出」を尋ねると、行事では宿泊学習を挙げた子供が最も多かったようです。夜寝る前のエピソードや月光ハイキングでのハプニング等を熱心に語っていました。また、「中学校で挑戦してみたいこと」では、新しく始まる部活動への思いや勉強との両立について考えている子供が多くいました。さらに、「将来の夢」については、スポーツ選手や作家、医者、弁護士、獣医、エンジニア、看護師、消防士、美容師、芸能人等、よく登場する職業の他に、「ユーチューバー」を挙げる子供も少なくありませんでした。

また、友達や家族、最近の出来事にも触れ、笑いが溢れる楽しい一時を過ごすことができました。また、一人一人に普段気付かなかった意外な一面(!?)があることが分かり、嬉しく思いました。

もうすぐ卒業する6年生には、楽しかった様々な思い出を進学へのエネルギーとし、中学校でのさらなる活躍に期待したいと思います。(校長)



万一の災害に備えて……地震対応避難訓練

2月28日(水)、地震対応避難訓練を実施しました。2011年の東日本大震災からもうすぐ7年になりますが、震災から学んだ教訓を忘れないようにすることが大切です。また、今年の集中豪雨で宇奈月地区でも大きな災害が発生したり、公民館が避難所として開設されたりしたことを踏まえて、普段から防災への意識を高めておくことが必要です。

この日は、震度5強の地震により、電源が喪失した状況やガラス等の散乱により中央階段が使えないなどの想定の下での訓練でした。避難場所では、保護者への引き渡し等の練習も想定し、学年別や地区別等、目的に応じた隊形練習もしました。家庭でも、万一の際の連絡方法や、非常持ち出し品の確認等、家族間で防災について話し合う機会をもっといただければ幸いです。



頭を守り、足下を確かめながら避難！

その他の学校生活から



1年・6年 なわとび大会



6年 総合「学校のためにできること＝恩返しプロジェクト」